



オーナーズマニュアル

POWER**ed** **BIKE** s1

「やってはいけない事」

パワードバイクS1は、リチウムイオンバッテリーを伴う精密機器です。

お客様の安全と機器の保護のために、下記のような行為は絶対にしないでください。

●バッテリーの取扱について

- ・水や火に投下しない
 - 破損・液漏れ・発熱・発火の恐れがあります。
- ・高温になる場所で、使用・充電・保管しない
 - 破損・液漏れ・発熱・発火の恐れがあります。
- ・バッテリー、充電器を幼児やペットが触れる場所に放置しない
 - 感電・怪我をする恐れがあります。
- ・バッテリー、充電器を改造・分解しない
 - 感電・怪我、破損・故障の原因になります。
- ・濡れた手で充電器や電源プラグ、充電端子に触れない
 - 破損や感電、故障の原因になります。
- ・充電器を他の機器に使用しない
 - 破損・故障の原因になります。
- ・充電中に周囲をカバーしたり、布で覆ったりしない
 - 発火・故障の原因となります。

●車両の取扱について

- ・けんけん乗り(片足乗り。サドルに乗らずに片足でペダルに体重を載せ、もう片足で地面を蹴って勢いをつける乗り方))をしない
 - 電動アシストが作動し、非常に危険です。
- ・停車中は、シフトレバーを操作しない
 - チェーンが外れたり、変速機に負荷がかかり、故障の原因になります。
- ・傘差し運転、片手運転、ハンドルに荷物を掛けての運転、携帯電話等を操作したり見ながらの運転等はしない
 - 運転操作を誤り、重大な事故につながる場合があります。
- ・歩道走行、車道の逆走、二人乗りなどをしない
 - 重大な事故につながったり、道交法違反を問われます。

＊交通法規を遵守して走行してください。

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
末永く、安全にご愛用戴くために、この説明書をよくお読みいただき、
記載事項を厳守して下さるよう、お願い申し上げます。

目次

- 3・・・やってはいけない事
- 4・・・守っていただきたい事
- 6・・・各部の名称、付属品
- 8・・・バッテリーの脱着方法
- 9・・・バッテリーの充電方法
- 10・・・マネージメントモニターの表示名称
- 11・・・マネージメントモニターの設定など
- 13・・・変速のしかた、ウインカーの操作、サドルの調整
- 14・・・フロントサスの切り替え、フロントホイールの脱着、タイヤについて
- 15・・・ブレーキについて
- 16・・・故障かな、と思ったら
- 17・・・諸元表
- 18・・・保証書

「守っていただきたい事」

●パワードバイクS1は原動機付自転車です。交通法規を厳守し、マナーのある安全運転を心がけて下さい。

- ・走行中は、必ずヘルメット(SG規格製品)を正しく被ってください。
- ・歩道を走ってはいけません。
- ・大きな交差点では2段階右折する
- ・二人乗りはしない(子乗せも出来ません)
- ・傘差し運転などの片手運転、ハンドルに荷物を掛けての運転はしない
- ・携帯電話やミュージックプレーヤーを操作したり見ながらの運転はしない
- ・電源オフの状態でも走行しても原動付自転車の扱いになりますのでご注意ください。

●乗車前には、必ずバッテリー残量をチェックしましょう。

＊パワードバイクの前照灯は、バッテリーを電源としており、バッテリー残量が少なくなった場合、消灯します。消灯したままの走行は非常に危険であり、法令違反となります。

●乗車前に必ず点検(日常点検の実施)

＊道路運送車両法では、車の使用者が日常点検を行うことが義務付けられています。日常点検を怠ると、重大な事故や怪我、故障の原因になります。安全で快適に車を使用していただくため、運転前に必ず実行してください。各部にゆがみやガタつきがある時は、乗車しないでください。補修や整備は、販売店へご依頼ください。

「メンテナンス」

間違った整備や調整は事故や故障につながります。無理をせず、わからない部分や難しい所は販売店にご相談下さい。

注意！ メンテナンスを行う際は、必ず電源を切ってから行って下さい。

ペダルやチェーンリングを動かした際に、不用意にアシストが働き、大変危険です。

●注油すべき箇所、してはいけない箇所

- ・チェーン、スプロケットには適切に注油する事で、サビを防ぎ、変速性能を維持する事が出来ます。
- ・ブレーキディスク、ブレーキキャリパーには絶対に注油しないでください。ブレーキの効きが著しく低下して、大変に危険です。

●タイヤのエアバルブについて

＊パワードバイクS1に標準装着されているタイヤチューブはアメリカ式(シュレーダー式)になります。自転車用の英式バルブや仏式バルブ用のポンプは使用出来ませんので、ご注意ください。(アメリカ式はオートバイや自動車と同じ形式です。)

「車両の保管について」

車両の保管には、雨・風・砂・紫外線・高温等を避けられるガレージや室内が適切です。屋外に保管する場合は、ボディーカバーを使用する等、適切な対策を講じてください。

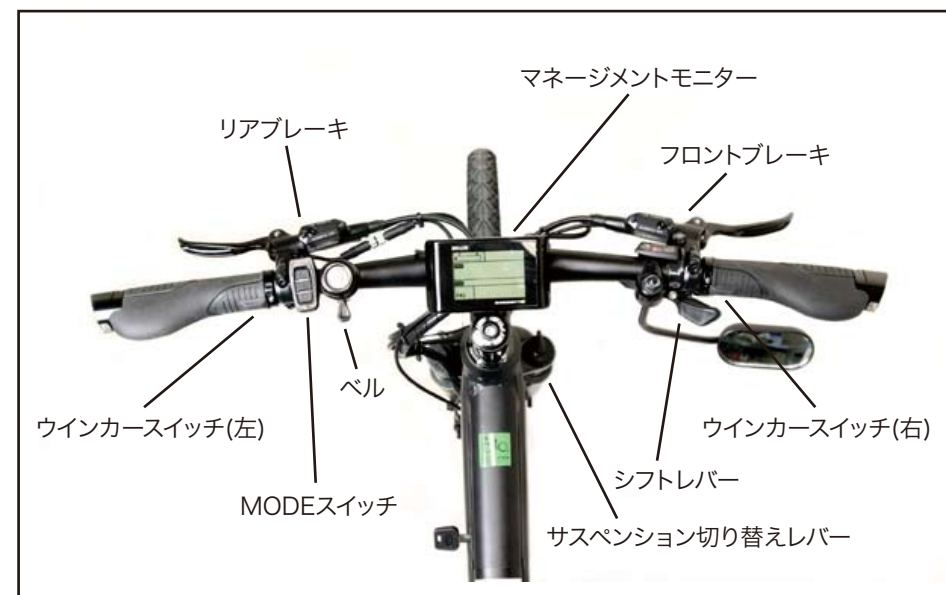
「廃棄について」

パワードバイクS1の使用をやめる場合や、バッテリーを交換する場合には、必ず販売店へお申し出下さい。環境保護とリサイクルの観点から、法律に則って適切な手続きを行い、貴重な資源を活かすよう処理させていただきます。



「各部名称」

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 フレーム | 14 テールライト |
| 2 シート(サドル) | 15 ナンバーホルダー |
| 3 シートクランプ | 16 ミラー |
| 4 ペダル | 17 グリップ/右ウインカー |
| 5 クランク/チェーンリング | 18 フロントブレーキレバー |
| 6 チェーン | 19 リアブレーキレバー |
| 7 カセットスプロケット | 20 グリップ/左ウインカー |
| 8 リアディレイラー | 21 バッテリー |
| 9 フロントホイール | 22 バッテリーキー |
| 10 リアホイール | 23 フロントブレーキキャリア |
| 11 エアロカバー | 24 リアブレーキキャリア |
| 12 フロントサスペンション | 25 リフレクター |
| 13 ヘッドライト | 26 サイドスタンド |
| | 27 ハブモーター(カバー内) |



「付属品」

- バッテリーキー ● 充電器 ● マニュアル(本書)

「バッテリーの外し方」



(1) バッテリーキーを差し込みます。



(2) キーを回してロックを解除します。



(3) 上側をフレームに当てないようにずらして下側を外します。



(4) バッテリー端子に直接触れないように十分注意してください。

「バッテリーの取り付け方」



(1) 本体端子に異物等がないか確認します。



(2) フレームに当てないように注意しながら、下側から差し込みます。



(3) 上側を差し込み、押してください。



(4) カチッとロックした事を確認してください。

「バッテリーの充電方法」



充電器の電源プラグを家庭用100V電源のコンセントに差し込みます。

バッテリー用プラグをバッテリー本体の差し込み口に差し込みます。

充電器のチャージランプがレッドからグリーンに変われば、フル充電が完了です。

● 充電時間の目安
バッテリーランプ4個 3～3.5時間
(充電器のチャージランプがレッドの場合)

フル充電 5～5.5時間
(充電器のチャージランプがグリーンの場合)

* 充電時間は状態、環境によって変わりますので、予めご了承ください。

● バッテリー本体による残量の確認方法
バッテリースイッチを押すと、表示LEDが点灯します。



LED緑4灯・・・十分にあります。
LED緑3灯・・・3分の2程度の残量です。
LED緑2灯・・・2分の1程度の残量です。
LED緑1灯・・・3分の1程度の残量です。
LED赤1灯・・・残量がありません。

* バッテリースイッチを押して5秒ほどで表示はLED1灯のみになります。

* バッテリースイッチを押すと電源ONの状態となり、OFFにするにはバッテリースイッチを長押しして一つ目のLED灯が消灯すればOFFになります。

「バッテリーについて」

バッテリーの性能や充電、放電は、温度に大きく影響されます。温度によって、一時的にアシスト量が低下する、走行距離が短くなる、充電できなくなるといった事がありますが、これは温度が回復すると自然に解消します。バッテリーは使用しなくても、自然に放電します。長期間乗らずにいた時は、再度充電してから使用して下さい。バッテリーは、正常な使用で充電や放電を繰り返したり、あるいは保管しておくだけでも、僅かずつ劣化していきます。パワードバイクS1に搭載しているバッテリーは、高性能・高耐久性ですが、充電1回あたりの走行距離が著しく短くなり、回復の兆しがない場合には、バッテリーの交換時期が来ています。この場合には有料でバッテリーの交換を承ります。詳しくは販売店にお尋ねください。

注意！ バッテリーは、絶対に分解したり火に投げたりしないでください。
破裂・発火などの恐れがあり、危険です。

* 長時間(1ヶ月以上)乗らない時は、バッテリーをパワードバイクS1から外し、直射日光や高温多湿を避けて保管してください。劣化を防ぐ為、少なくとも3ヶ月に1回は充電してください。

「電源の入れ方、切り方」



(1) バッテリースイッチを押します。
残量表示LEDが点灯します。



(2) MODEスイッチのMODEボタンを
強めに押します。



(3) マネージメントモニターが点灯します。

*電源の切り方は逆手順で行いますが、
それぞれボタンを長押ししてください。

「マネージメントモニターの表示名称」



「操作方法とマネージメントモニターの表示」

●アシストモードの切り替え

電源ONの状態、MODEスイッチの上下矢印ボタンを押して切り替えます。
↑ボタンを押すと、押すたびにアシスト量(PAS)が増えていきます(最大値=9)
↓ボタンを押すと、押すたびにアシスト量(PAS)が減っていきます(最小値=1)
PASレベル1~3:エコノミー(ECO)、4~6スタンダード(STD)、7~9パワー(POWER)



●ヘッドライト/テールライト/モニター照明の点灯方法

電源ONの状態、↑ボタンを長押しすると点灯。点灯時に長押しをすると消灯します。



●積算距離計(ODO)と距離計(TRIP)の切り替え

電源ONの状態、MODEボタンを押すと切り替わります。



●距離計のリセット方法

1) 電源ONの状態、↑ボタン、↓ボタンを同時に長押しすると表示が変わります。
2) tc-n(set.1)が表示されたら、↑ボタンまたは↓ボタンを押してtc-yに変更します。
3) MODEボタンを長押しすると0にリセットされ、表示が元に戻ります。



●モニター照明の明るさ調整

モニターのバックライトを3段階に調整出来ます。
1) 電源ONの状態、↑ボタン、↓ボタンを同時に長押しすると表示が変わります。
2) MODEボタンを押してset.2の表示するとbl-1,bl-2,bl-3のいずれかを表示します。
3) ↑ボタン、↓ボタンで明るさを調整したらMODEボタンを長押しして元に戻します。



●Km / Mile 表示の切り替え

※原則として日本国内ではKm, Km/h表示を使用してください。

- 1) ↑ボタンと↓ボタンを同時に長押しします。
- 2) MODEボタンを押してset.3の表示するとkm/hもしくはmp/hが表示されます。
- 3) 3) ↑ボタン、↓ボタンで切り替えたらMODEボタンを長押しして元に戻します。



●平均速度(アベレージ速度)と最高速度の確認方法

電源ONの状態で行走后にそれぞれ確認する事ができます。

- 1) MODEボタンと↓ボタンを長押しします。繰り返し2つのボタンを長押しすると順に切り替わります。
- 2) AVG SPEED(平均速度) / MAX SPEED(最高速度) / 表示無し
- 3) モニター電源をOFFにするとデータは消去されます。



●デフォルトの方法

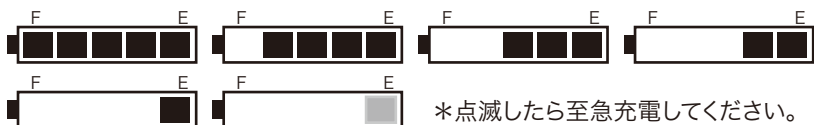
モニターの設定値を一部を除いて初期値に戻す事が出来ます。

- 1) MODEボタンと↑ボタンを同時に長押しします。
- 2) DEF ? n という表示になったら↑ボタン、↓ボタンを押してyに変更します。
- 3) MODEボタンを押して設定を初期値にします。



●バッテリー残量の確認

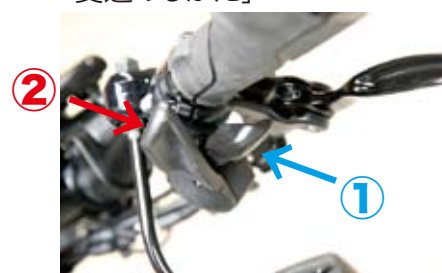
バッテリー残量の目盛りを参考にしながら走行してください。
目盛りが少なくなった時は早めに充電してください。



●エラーコード/メンテナンスが表示した場合

マネージメントモニターには自己診断機能が備わっています。万が一、使用中にエラーコードやメンテナンスマークが点灯した場合には速やかに販売店へご相談ください。

「変速のしかた」



シフトレバーがハンドルバー右側についています。

①レバーを人差し指で引くとシフトアップします。

②レバーを親指で押すとシフトダウンします。

※バッテリーを効率的に使うアシスト距離を延ばすために、変速をまめに行い、常に軽めのギアを選択する事をお勧めします。

※変速は停止中に行わないでください。

チェーン脱落等の原因になります。

「ウインカーの操作」



ウインカースイッチは左右のグリップにそれぞれついてます。押すとオン、もう一度押すとオフになります。

オンにしてからおおよそ15秒で自動消灯します。



●ウインカーの電池交換

ウインカーは電池で作動しています。つかなくなったりした場合は電池を交換してください。

※単4電池x左右各1個使用

- ①グリップエンドのヘキサゴンボルトを緩めます。
- ②ウインカー部を引き抜きます。その際に勢い良く抜くと配線が切れてしまいますので、十分に注意してください。
- ③電池を交換したら、挿入してください。その際に配線がかみ込まないように注意してください。
- ④点灯確認をしてください。

※電池は左右に1個ずつ入っています。

「サドルの調整」



シートクランプレバー(A)を緩めてサドルの高さ調整をしてください。クランプレバーは少し力を込めて奥まで締められるのが適正な状態です。緩かったり、きつかったりする場合はクランプレバーを止めているボルト(B)で調整してください。クランプレバーの調整が適正とないとサドルがぐらぐらしたり下がったりします。ボルト(C)でサドルの前後方向および角度を調整出来ます。

「フロントサスペンションの切り替え方法」



フロントサスペンションの右側にサスペンションをオン/オフ出来る切り替えレバーがついています。

緑色；サスペンションが作動します。
赤色；サスペンションがロックします。

使用用途に応じて、切り替えてください。

「フロントホイールの脱着方法」



●外し方
クリックリリースのレバーを緩めます。
反対側のボルトを緩めます。
アクスルシャフトごとフロントホイールを
フロントフォークから外します。

●組み付け方
クイックリリースレバーを緩めたまま
Fホイールをサスペンションに組み付けます。
ディスクローターがパッドの間にある事を確認して、
アクスルシャフトをフォークエンドに差し込みます。
クイックリリースのボルトを調整してレバーで
適正に締められるようにしてください。

＊走行前に必ずブレーキの効きを確認し、
引きずり等が無い事を点検してください。

「タイヤについて」



●タイヤサイズ
700 x 45mm (28" x 1.8")

●チューブサイズ
700 x 45C 米式バルブ

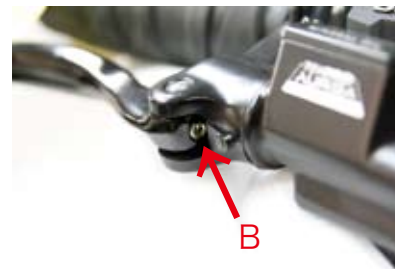
●空気圧
3.5bar / 51psi / 350kpa

注意！ タイヤの空気圧は乗車前に必ず点検してください。
空気圧が低い状態で使用すると走行が不安定になったり、
不用意にパンクを引き起こす事があります。
また、タイヤ溝が少なくなった場合は速やかに新品に交換してください。
不明な点は販売店にご相談ください。

「ブレーキについて」



●ブレーキレバーの調整
2mmのアーレン レンチを用いて、矢印Aの
ボルトを時計回りに回すとレバーが遠くなります。
反時計回りに回すとレバーが近くなります。
握りやすい位置に調整してください。
(左右同じです。)
調整後は必ずブレーキの引きずりなどが無い
か確認してください。



●レバー固定ボルト
矢印Bのボルトはブレーキレバーをピボット
シャフトに固定する為のボルトです。
緩める必要はありませんので触らないで
ください。
(左右同じです。)



＊フロントキャリパ

●ブレーキパッド
ブレーキパッドは消耗品です。
パッド残が0.8mmより少なくなった場合は
新しいパッドに交換してください。
作業は販売店に依頼してください。

注意！ 重要な部品ですので、知識がない場合は
決して分解作業等行わないでください。



●ブレーキオイル
ブレーキオイルの点検、補充、交換等は
販売店に依頼してください。
オイルはTEKTRO BRAKE FLUIDを
使用してください。それ以外のオイルを
使用すると正常に作動しない事や機器に
ダメージを与える可能性がありますので、
十分にご注意ください。

注意！ ディスクブレーキ(ローター、キャリパ、パッド)は走行直後は
非常に熱くなっていますので、絶対に触らないでください。
また、第3者触れる事がないよう十分に配慮してください。

「故障かな、と思ったら」

●電源が入らない	バッテリーが充電されていない。バッテリーの寿命。バッテリー電源とモニター電源の両方がONになっていない。
●ペダルが重い	電源が入っていない。充電されていない。アシストの設定が低い。空気圧が低い。ギアが適切でない。ブレーキがひきずっている。
●電池残量がすぐ減る	充電されていない。バッテリーの寿命。
●アシストが弱い	アシストの設定が低い。充電されていない。電源が入っていない。ギアが適切でない。ブレーキがひきずっている。
●アシスト距離が短い	充電されていない。バッテリーの寿命。上り坂が多い。空気圧が低い。ブレーキがひきずっている。
●チェーン回りから異音	チェーン、スプロケットの摩耗。さびや汚れ。無給油。
●エラーコードが出る	販売店へご相談ください。

＊その他、気になるような症状などがありましたら、速やかに販売店へご相談ください。

「諸元表」

モデル名	POWERed BIKE s1
種別	第一種原動付自転車
重量	24kg
長さ	1,880mm
幅	670mm
高さ	1,210mm
乗車定員	1名
サドルの高さ	880～1,000mm
フレーム	28"×510mm
タイヤサイズ	28"×1.8" (700×45mm)
リムサイズ	28"×1.4" (700×36mm)
空気圧	最大3.5bar / 51psi / 350kpa
前後ブレーキ	TEKTRO 油圧ディスクブレーキ
チェーンリング	48T
カセットスプロケット	12～32T
チェーン	116リンク
変速装置	シマノ デオーレ9速 ハンドル用変速装置付
ヘッドライト	3.6V LED
テールライト	1.2V LED
モニター表示	バッテリー残量、速度、距離、アシストレベル、アベレージ、その他
アシストモード	9レベル、4.5km/hまで
モーター	48V直流ブラシレスモーター
定格出力	約0.25kw
伝達形式	ハブモーター、プラネタリーギア減速式(4.43)
バッテリー	リチウムイオンバッテリー (パナソニックセル／プロタニウム)
電圧	48V
電流	20A
容量	8.7Ah
重量	約3.2kg
距離の目安	約20km～約50km (走行条件によって変わります。)
バッテリー寿命	約500～1000回充電
充電器	100～230V、50～60Hz対応
充電時間	約5時間 フル充電の80%を充電するのに約2.5時間

保証書

この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書はお買い上げの日から保証期間中に不具合が発生した場合、
保証規定に基づいて1年間保証致します。

保証規定

＊通常使用の元、明らかに製造、組み立て、品質等に起因する場合は
速やかに補修、調整、代品のいずれかの対応を致します。

＊ただし、次の場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

- ・消耗品(タイヤ、チューブ、ブレーキパッドなど)に関わるもの
- ・不適切な使用をしたとみられるもの
- ・改造や調整範囲を超えたもの
- ・不適切な環境で保管されていたもの
- ・譲渡されて使用過程が不明なもの
- ・保証書の提示がない場合
- ・保証書に販売店印のないもの
- ・故意による損傷と認められるもの

＊不具合が生じた場合はこの保証書を添えて販売店へご連絡ください。

購入年月日

年 月 日 より 1 年 間

車台番号

ご購入者名／ご住所

販売店印

株式会社 CDJホールディングス

販売元

CARBONDRIY JAPAN

(株式会社 CDJホールディングス)

470-0128 愛知県日進市浅田平子1-370

TEL 052-807-3336 FAX 052-806-5683

info@carbondriyjapan.com

Under license from Protanium b.v Denmark